

人工股関節置換術の治療を受けられる患者さまへ

月/日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
経過	入院日～手術前々日		手術当日		手術翌日	入院4日目	5日目	6日目	7～9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14～15日目	16日目	～22日目	23日目～	
			手術前	手術後	術後1日目	術後2～3日目	術後4日目	術後5～7日目	術後8日目	術後9日目	術後10日目	術後11日目	術後12～13日目	術後2週間	術後20日目	退院または回復期リハビリテーション病棟へ転棟		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術の必要性が理解でき、同意している 入院生活について理解できる 		<ul style="list-style-type: none"> 痛みのコントロールができる 安静度を守り、転倒なく過ごせる 傷の腫れ、傷からの出血がない 検査所見に異常がない 													<退院基準> <ul style="list-style-type: none"> 検査所見に異常がない 手術創部に異常がない 歩行訓練ができる 		
処置	状態に応じて入院前に自己血貯血を行います		自己血貯血をされた方は自己血を使用します															
	状態に応じて、術前々日～当日朝にかけて下剤、浣腸を行います		尿量や出血量を確認します。尿管、傷やその周囲へ血液を排出する管(ドレーン)を留置する事があります			医師回診でドレーンを抜き、傷の消毒をします								抜糸・抜鉤を行います				
薬剤	今までの内服薬が一部変更・追加になることがあります		朝から点滴を開始します		食事が安定したら点滴を終了します。抗生剤の点滴は術後1～2日間行います。痛みの強いときは痛み止めを使用します。				手術翌日～術後2日目以降、ドレーン抜去後以降に中止していたお薬の再開、新しく抗凝固剤の内服を開始します									
リハビリ	状態に応じてリハビリを開始します		手術当日のリハビリはありません		ベッド上のリハビリを再開します		ベッドで機械を使って膝を曲げる練習を始めます(CPM)。車椅子移動、トイレ排泄、歩行訓練(状態に応じて平行棒、歩行器、杖を使用します)を行います											
検査	適宜、採血やレントゲン撮影を行います		検査		採血		採血		採血		採血		採血		採血		レントゲン	
活動・安静度	制限はありません				30度までベッドアップ可能です		ドレーンを抜いた後は状態に応じてリハビリをしていきます											
栄養(食事)	食事・水分摂取が可能です		朝から食事や水分を摂取することはできません			おなかの動きと、排ガスを確認後、食事を再開します												
清潔	シャワーや入浴可能です		ベッド上で体拭きや洗髪、足浴を行います				傷をテープ等で保護していれば、シャワー浴が可能になります											
排泄	排泄はトイレで行います		尿管を留置することがあります		術後1～2日目に尿管を抜きます		リハビリにて車椅子に乗る訓練を行い、安定してきたらトイレで排泄を行います											
説明	手術日決定後に主治医より手術の説明があります		手術後に主治医より説明があります		医師や看護師、理学療法士より退院に向けて説明を行います													
その他	弾性ストッキングのサイズを測定します		血栓予防のために弾性ストッキングを履きます 歩行可能になるまで使用します															
	手術に必要な物品を準備します		手術中はご家族の方に家族待合室にて待機していただきます															
	指輪、義歯、めがね等は手術の際、外しますので確認いたします		付き添いが難しい場合は看護師へご連絡ください															
	爪は短く切っておきましょう 女性の方は手足のマニキュアを落としておきましょう																	

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わることもございます。